

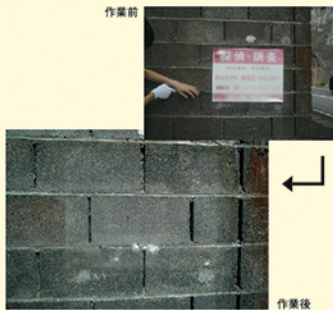


## 下田まち遺産ニュース その1

### 景観を守るために 不法看板一斉撤去を行いました。

平成 26 年 9 月 4 日、静岡県・山梨県・神奈川県 の三県合同による不法看板一斉撤去を行いました。今年には下田市だけでなく、河津町や東伊豆町と共同で、国道 135 号線沿いをパトロールし、全部で 6 枚の不法看板を撤去しました。伊豆地域の美しい景観を守るために、ご自分の建物や堀・柵などに無断で設置された看板の撤去をお願いします。

写真：写真は不法看板の撤去作業の前。



## 下田まち遺産ニュース その2

### 下田まち遺産巡りを開催していただきました。

8 月 21 日、県民の日イベントとして、下田ボランティアガイド協会主催による「カメラの運び」と歩いて探す下田まち遺産」を開催しました。会員ふんする「カメラの運び」の案内で、30 名の参加者と共に下田運杖ゆかりの地や下田まち遺産を巡りました(右写真)。今後は、下田ボランティアガイド協会で下田まち遺産巡りコースを作っていく予定ですので、下田でも協力し、多くの市民や観光客に下田まち遺産を知っていただけるよう努力していきます。



### 下田運杖似の カメラの運びとは？

下田運杖は下田出身の営業写真の開祖の1人として活躍した偉人。そんな運杖を多くの人たちに知っていただくために出来たのが下田運杖プロジェクト(下田商工会議所主催)。カメラの運びは下田運杖を世の中に知ってもらおうと自らを運杖に似せたキャラクターです。



公式ホームページ <http://www.reniji.jp>



## 日本最古の石造洋式灯台

# 神子元島灯台

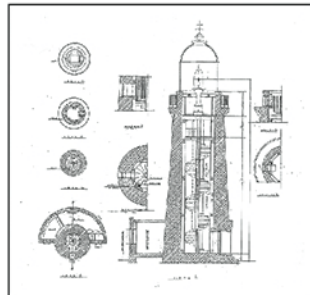
みこもとじまとうだい

下田港から南へ約 10km の海上に浮かぶ無人島「神子元島」。黒船来航で知られるペリー提督の記した日本遠征記に「Rock Island」と呼称された岩礁でもあるこの島には、約 140 年前から人々を見守り続けている神子元島灯台(国指定文化財・下田まち遺産)があります。今回はこの灯台を特集します。実際に島に上陸し、灯台の中も見学してきました。下田市の管轄ということも意外に知られていない神子元島と灯台をご案内します。

※神子元島へは現在、漁船やダイバーのための船のみ運航しています。



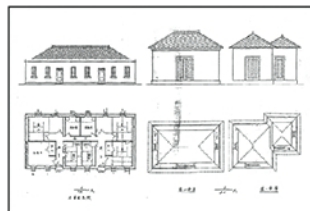
画像提供：下田海上保安部



神子元島南側から灯台方向を見、

## 灯台は下田の伊豆石で出来ています。

神子元島灯台は下田から切り出された伊豆石を「観光丸」という船で運び、緻密に積み重ね建造されています。建設当時の姿を残したものとしては、日本最古の石造洋式灯台で、国際航路標識協会 (IALA) が選定した「世界の歴史的灯台百選」のひとつでもあります(日本には他に 4 つ選定)。そんな神子元島灯台の建設を監督したのがリチャード・ヘンリー・プラントン。プラントンは「日本灯台の父」と呼ばれる人物で、開国以降近代化を進める明治政府の樹立間もない日本に招かれたイギリス人土木技師です。神子元島灯台は、このプラントンの手掛けた灯台建設の中でも「最も困難で最も重要な灯台である」と明治政府に報告されました。プラントン技師は本務である灯台建設はもちろん、電信事業の指導にも関係しました。また、鉄道建設の必要性についても建言、横浜の築港計画や橋梁計画など、幅広く手掛けた。



上段：昭和 23 年当時の神子元島灯台被災復旧図。  
下段：神子元島灯台同様伊豆石の壁で覆われた宿舍等の図面。  
画像提供：下田海上保安部

## 明治3年の初点灯の日には 木戸孝允と大久保利通が来島。

慶応 2 年 (1866)、江戸幕府がイギリス・フランス・アメリカ・オランダの 4 国と調印した改税約書(貿易時の決まり事)により、日本は各地に灯台を建設するよう義務付けられました。この灯台の建設は、日本近代化の先駆けとして着手された国家事業であり、暗礁の続く海路の難所である神子元島にも建設されることになりました。明治 2 年 2 月に着工され、明治 3 年 11 月 11 日 (西暦 1871 年 1 月 1 日) に完成しました。初点灯の日(実際には翌朝)には、明治政府の要人である木戸孝允や大久保利通、英国公使ハリリー・パークス、通訳アーネスト・サトウらが灯台を訪ねたことから、当時の重要な国家事業であったことがわかります。また、木戸孝允と大久保利通の日記には神子元島から戻った後、「蓮台寺の温泉に入り、稲生沢川を船で下り、夜は下田でお酒を飲んだ」と書かれています。

建設当時の神子元島灯台、伊豆石の目が見える。  
一般社団法人燈台協会蔵「燈台館秘蔵写真帖」より転載。

Web ページでは  
こちらの画像は  
表示できません。